

平成28年度 事業報告

自 平成28年4月 1日

至 平成29年3月31日

<事業の概況>

公益財団法人盛岡地域地場産業振興センターは、盛岡地域の自然と歴史、伝統の中で育んできた地域の文化に由来する地場の産業振興を目的として、平成28年度も積極的に盛岡広域8市町と連携し、公益目的事業の核となる地場産品紹介普及啓発、体験学習事、地場産品の資料展示や人材育成事業による後継者の育成など公益事業をいたしました。また、5月には盛岡手づくり村開業30周年を迎えたことから、盛岡広域8市町、協同組合盛岡手づくり村と実行委員会を組織し、年間を通じて様々な記念行事を実施いたしました。更には、センターの運営安定を図るための収益事業としては南部鉄器協同組合や自動販売機業者及び一般の方々へ施設賃貸を行った他、地域外で生産されている集客性の高い商品の販売も積極的に実施いたしました。その他、行政等の支援事業を活用し首都圏での盛岡広域の工芸品等の紹介を実施した他、外国人観光客が求める工芸品に対する需要調査も行い地場産業の普及啓発にも努め公益事業との連携を図りました。

1. 地場産業振興事業（公益事業）

盛岡広域生活圏内の地場産業振興のため、地場産品の普及啓蒙を図る地場産品紹介普及啓蒙事業、芸術的工芸品の振興を図り、後継者の確保へと結びつけていくことを目的とする体験学習事業、盛岡地域地場産産業への理解向上と今後の地場産業振興発展を目的とする展示資料室運営事業等を公益事業として積極的に推進し、盛岡地域内の地場産業の振興を図っていく。

（1）地場産品紹介普及啓蒙事業

盛岡広域で生産される伝統的工芸品や民芸品、食品等の地場産品を県内外の消費者に広く紹介を行い普及啓発を図った他、展示即売室には広域8市町の逸品を紹介する「逸品コーナー」を設置した他、新たに盛岡市の友好都市であるうるま市の物産紹介コーナーも設置した。更にはインバウンド対策の一環として免税店を開設し、運用を開始した。

ア 地場産品紹介普及啓蒙事業

① 展示即売事業

・盛岡広域逸品コーナーの活用

展示即売室内の「盛岡広域ベストセレクション」コーナーにおいて、盛岡広域8市町の食品、工芸品の紹介を行い、展示品の訴求力を高めた。

- ・うるま市友好都市交流コーナーの設置
盛岡市と友好都市・うるま市をパネルやパンフレットで紹介したほか、特産品である「泡盛」を店舗や盛岡手づくり村ギフトチラシで紹介した。
 - ・免税店の運用
平成 28 年 2 月 22 日に開設し、免税対応にあたった。来村客の国別データを取り、出展業者にフィードバックした他、旅行代理店、宿泊関係機関、報道機関へ情報提供し、利用の周知に努めた。
 - ・POS システムの運用
 - ・展示即売室 POS システムの情報に基づき、各出展者に対して、販売状況や施設外での販売計画や概要について、情報の提供を毎月、定期的実施した。
 - ・季節的に商品需要が高まる 6 月の中元、12 月の歳暮の時期に対応し、即売室内にギフトコーナーを設けるとともに、カタログを作成し地場製品の普及に努めた。
 - ・「イベントスペース」を展示即売室内に 2 箇所、通年設置し、季節感や展示品の特性を説明、演出しながら、展示即売室への来村客の誘導を図り、訴求力を高めた。
 - ・修学旅行生への情報提供と事前学習に対応するため「修学旅行お土産最適品リスト」を作成、お土産コーナーを設置した。
 - ・「今が旬・話題のコーナー」を設置した。
 - ・「試食販売」を随時実施し、展示品の品質の良さ、特徴を説明し、実感してもらいながら展示品の普及に努めた。
 - ・「お買い上げ感謝抽選会」を開催し、購買意欲の誘発に努めた。(5 月、8 月、10 月、1 月、2 月)
 - ・マルシェ直営ショップの運営し、来村客へのおもてなしに努めた。
- ② 物産展・展示会への出展
(全国センターへの出展)
- ・ 4 月～3 月「ハーベストの丘農産物直売所」県外委託販売
 - ・ 4 月～6 月「三重北勢地域地場産業振興センター」県外委託販売
 - ・ 4 月・11 月「山口・防府地域地場産業振興センター」県外委託販売
 - ・ 6 月 15～21 日「中核市フェア／盛岡市東京事務所」出展
 - ・ 11 月「東京都文京区博覧会／盛岡市東京事務所」出展
 - ・ 9 月 19 日「福山暁の星女子中学・高等学校」県外委託販売
 - ・ 10 月 8 日～9 日「今治地域地場産業振興センター」県外委託販売
 - ・ 11 月「備後地域地場産業振興センター」県外委託販売
 - ・ 12 月～3 月「道の駅藤樹の里あどがわ」県外委託販売
 - ・ 3 月「福山暁の星女子中学・高等学校」県外委託販売

(県内各地物産展出展参加)

- ・ 4月29・30日／5月3・5日「森の小径カフェ」販売
- ・ 4月23日・24日「岩電展示即売会」出展
- ・ 5月25日・26日「東北都市監査委員会定期総会」出展
- ・ 6月10日～12日「いわて国体ボルタリング)」出展
- ・ 6月10日「国体レセプション」出展
- ・ 6月15日「キャラホール岩手県保健推進委員等代表者協議会」出展
- ・ 8月7日「いわて国体55日前イベント」出展
- ・ 8月25日～26日「全国保育士養成セミナー・研究大会」出展
- ・ 9月4日～11日「いわて国体・水泳」出展
- ・ 9月28日～10月3日「盛岡市産業まつり」出展
- ・ 10月15日～16日「岩電展示即売会」出展
- ・ 10月2日～4日「いわて国体・テニス」出展
- ・ 10月2日～4日「いわて国体・ライフル」出展
- ・ 10月7日～8日「いわて国体・ボルタリング」出展
- ・ 10月7日～10日「いわて国体・カヌー」出展
- ・ 10月22日～24日「いわて国体・サッカー」出展
- ・ 11月19日～12月10日「イオン盛岡ギフトコーナーりんご」出展
- ・ 1月26日「盛岡コンベンションフェア」出展
- ・ 2月25日～26日「S-1スイーツフェア」出展

(県外各種物産展参加)

- ・ 6月25日・26日「東北六魂祭青森2016」出展
- ・ 7月2日～6日「盛岡デー・IN・東京」出展
- ・ 8月2日～7日「いわて銀河プラザフェア」出展
- ・ 9月10日～11日「函館グルメサーカス」出展
- ・ 10月6日～10日「札幌チカホ・新幹線沿線のまちフェア」出展
- ・ 11月10日～14日「イオン琉球・岩手盛岡フェア」出展
- ・ 11月20日～25日「いわて銀河プラザ・もりおかの味覚まるごとフェア in 東京」出展
- ・ 12月17日～18日「うるま市産業まつり」出展
- ・ 1月11日～17日「さっぽろ東急」出展
- ・ 2月25日～26日「モリハチ祭り in 浅草」出展
- ・ 2月15日～21日「八木橋百貨店 岩手の物産展」出展

(常設展示)

- ・ 4月～3月「イオン盛岡・もりおかん」常設委託販売
- ・ 4月～3月「歴史館」常設委託販売

- ・ 4月～3月「もりおか啄木・賢治青春館」常設委託販売
 - ・ 4月～3月「つなぎ温泉観光協会」常設委託販売
 - ・ 4月～3月「ららいわて」常設委託販売
 - ・ 4月「四十四田ダム桜祭り」委託販売
 - ・ 9月24日「第15回盛岡駅前東口えきいき沿線特産市」委託販売
- ギフトカタログの作成
- ・ 6月～8月「盛岡手づくり村・夏ギフト」
 - ・ 11月～12月「盛岡手づくり村・冬ギフト」

ふるさと納税謝礼品の受注

- ・ 9月～3月 27件

特注商品受注

- ・ 弘南観光「福袋ツアー」671名の集客

講習会の実施

- ・ 4月 免税講習会実施
- ・ 4月 物産事業部ミーティング
- ・ 8月 免税講習会実施
- ・ 2月 ふるさと納税セミナー
- ・ 2月 物産事業部ミーティング

即売室棚替えの実施

- ・ 民芸品コーナー棚替え実施
- ・ 染物コーナー棚替え実施

マルシェ

- ・ マルシェ 新メニュー開発（わかめうどん・そば）
- ・ マルシェ 盛岡広域市町デザートメニューの提供

③インターネット「楽天市場」バーチャル産業まつり

期 間：平成28年4月1日～平成29年3月31日

出品物：食品・民芸品等 450アイテム

イ 体験学習事業

盛岡手づくり村が持つもっとも優れた機能の一つである工房の職人の技を活かした「体験学習」を実施し、県内外はもとより海外からの観光客にも、ものづくりの喜びと楽しみ、感動を与えたとともに、盛岡地域の文化や風土を、そこから生み出される工芸品への理解を深めて頂いた。また、盛岡広域圏内の教育関係機関向け

に盛岡手づくり村の工房や職人を紹介した教育機関並びに、旅行代理店向けリーフレットを活用し教育旅行団体の誘致に努めた。

- ・「手づくり教室」は、盛岡広域の歴史と文化に根差した手仕事の技を体験し、職人と直接、接することができ、日本の手仕事を理解する絶好の機会であり、当施設が他の施設を圧倒する特徴的な事業である。次の11の分野で、24コースを設け、通年に渡り実施した。

陶器、藍染、竹細工、わら細工、木工、はたおり、こけし絵付、こま絵付
陶器絵付、木の実細工、冷麺

- ・修学旅行の誘客宣伝と事前学習、来村時の学習向けに、盛岡手づくり村内の工房や職人、さらに、盛岡市教育委員会教育長のメッセージを紹介したパンフレット「ここに、技と心がある」を教育関係者や旅行代理店に配布、情報提供し、体験学習事業の意義を説明しながら誘客宣伝に努めた。
- ・体験学習の動向の把握と、誘客宣伝活動として、旅行代理店や学校等を対象として、県等が主催する札幌、函館、東京での教育旅行誘致説明会に参加し、旅行代理店や中学校、高等学校関係者に対して誘客を働き掛けた。
- ・修学旅行の事前調査に来村する学校、団体等に対して、これまでの実績や十分な情報を提供し、来村者の確保に努めた。
- ・盛岡広域圏内の小学校の誘客宣伝として、夏季、冬季の長期休業期に対応した「特別体験教室」種目の充実を図るとともに、体験種目、内容を紹介するチラシを広域圏内の全児童に配布した。

ウ 展示資料室運営事業

盛岡地域地場産業への理解向上と今後の地場産業振興発展を目的として、全国から訪れる来場者に対して歴史や製造工程、制作者等を資料やパネルで紹介したほか、伝統工芸品の展示紹介を行なった。

- ・展示資料の充実を図り、全国から訪れる観光客に地場産業文化と芸術的工芸品への理解に努めた。
- ・地場製品の歴史や生産技術、生産工程、施設内工房の紹介を通して、盛岡広域圏内の地場製品の普及宣伝を図った。

2. 人材育成事業

盛岡地域の手づくり産業を担う技術後継者や経営後継者の育成を図るため、広域8市町と連携し、講演会、座談会等を通して技術力の向上や交流の促進を図った。

- ・手仕事に携わる事業者、従業者を対象に、技術承継や経営承継に関する情報の提供や、研修会の開催、個別相談などを関係機関とともに実施した。
- ・有識者や学識経験者を招聘し、手づくり産業の現状や課題、そして課題解決に向けた国の取組などを紹介する研修会などを開催したほか、座談会を開催するなどし、職人相互の交流を促進した。
- ・首都圏や中京圏内の手づくり職人の事例を紹介し、異業種間の交流や地域との交流、新市場の開拓など新たな取り組みへの指針を提供した。

3. 施設賃貸事業（収益事業）

南部鉄器協同組合、自動販売機業者及びホームページでの PR 等により一般の方々への施設賃貸を行い、センター運営に必要な収益の一部とした。

- ・南部鉄器協同組合へ、事務所・倉庫として貸し付けた。
- ・(株)サンベンディング、みちのくコココーラ（株）へ、自動販売機設置（10 台）のため貸し付けた。

4. 販売促進事業（収益事業）

展示即売室内に地域外商品の販売スペースを設置し収益性の高い商品の販売並びに PB 商品であるアロニア関連商品の販売を行い収益の拡大を図った。更には有名菓子店への喫茶コーナー貸し出しを行い、店舗展開による収益増収を図った。

① 盛岡手づくり村産直「マルシェ」

盛岡手づくり村産直『マルシェ』において、業界関係者の新商品の普及宣伝、試食販売などを実施した。また、盛岡手づくり村オリジナルアイス「なんじゅら?」、「アロニア商品」の普及宣伝に積極的に取り組んだ。

②アロニア関連商品開発事業（販売促進事業）

本年度は盛岡市東部産のアロニア関連商品を製造すると共に、積極的な普及宣伝、販売活動を実施した。

- ・アロニア製品の製造販売、ジャム、サプリメント、ジュース等

5. 共用施設維持管理事業（その他の事業）

盛岡手づくり村を構成する、盛岡市、盛岡地域地場産業振興センター、協同組合盛岡手づくり村の三者において共有する施設の維持管理を行った。

- ・維持管理費 8,414,928 円（植栽・清掃・電気・除雪・曲り家等の維持管理）

6. 南部曲り家地場産品 PR 事業（その他の事業）

全国から訪れる観光客に対し、地場産業文化への理解を得ることを目的とし工芸品の製作実演や地位に古くから伝わる伝統行事等を企画実施した。

- ・国内外から来村する団体客や個人に対して、盛岡地域の地場産業を幅広く紹介することを目的として、こけしや、繭細工等の工芸品制作実演を実施し盛岡地域の地場産品を紹介した。
- ・盛岡地域に古くから伝わる民俗・伝統行事などの節句行事等を開催し、民俗・伝統行事等を将来に伝承する活動を行った。

7 盛岡手づくり村開業30周年記念事業

昭和61年5月に開業した盛岡手づくり村は平成28年で開業30周年を迎えることを契機に、盛岡広域圏内の各自治体などと連携し、それぞれ固有の資源を最大限発揮し、県内外への盛岡広域地場産業の周知を行いながら販路拡大を行うとともに、生産者や消費者の交流による需要の拡大と広域連携の強化等を図ることを目的とし、以下の事業を実施した。

(1) 開業30周年記念式

① 日 時

平成28年5月16日(月)午後2時から

② 会 場

湯守ホテル大観(盛岡市)

③ 招待者

国土交通省、岩手県、広域8市町・商工会等、報道関係、周辺施設関係者、学識経験者等 137名

④ 内 容

式典・来賓紹介・祝辞・感謝状贈呈(北上川ダム統管理事務所
つなぎ温泉観光協会・盛岡繋温泉病院・小岩井農牧)

(2) 30周年の歩み作成

A4版 4頁 カラー 200部作成(式典出席者及び関係機関に配布)

(3) シンポジウムの開催

① テーマ

「手づくりの魅力が輝く街に」～集え、競え、踊れ、舞え、輪になれ
日本の「わざもん衆」

② 出席者

- ・阿部裕之（岩手大学教授）
- ・指田京子（伝統工芸品産業振興協会 元産地支援部長）
- ・醍醐 斉（わざもん衆事務局）
- ・佐々木俊幸（協同組合盛岡手づくり村理事長）
- ・滝浦麻理夫（盛岡手づくり村 染屋たきうら専務理事）
- ・河辺邦博（IBCアナウンサス学院長）ファシリチーター

（3）30周年記念イベント（4回）

①盛岡手づくり村盛岡広域ふるさと春まつり2016

- ・開催日時
平成28年5月3日（祝）～5日（祝）の3日間 9時～16時
- ・会場
盛岡手づくり村（催事広場、南部曲り家、展示即売室）
- ・内容
盛岡広域地場食品展、海の町応援いきいきフェア、手づくりの館
ふるさと自慢ステージ、広域観光、行事紹介コーナー等
- ・入場者数
24,234人

②盛岡広域・ふるさと夏まつり2016

- ・開催日時
平成28年8月13日（土）～15日（月）の3日間 9時～16時
- ・会場
盛岡手づくり村（催事広場、南部曲り家、展示即売室）
- ・内容
盛岡広域地場食品展、手づくりの館、いわ国体PRコーナー、来場者参加
イベント等
- ・入場者数
15,100人

③盛岡広域・食と工芸秋まつり2016

- ・開催日時
平成28年10月8日（土）～10日（祝）の3日間 9時～16時
- ・会場
盛岡手づくり村（催事広場、南部曲り家、展示即売室）
- ・内容

盛岡広域地場食と工芸フェア、お買い上げ感謝抽選会、盛岡広域ポラーノ広場（郷土芸能）、盛岡広域地場産品、観光、行事紹介コーナー、ジャンボ南部せんべいのお振舞等

- ・入場者数
12,879人

④盛岡手づくり村盛岡広域ふるさと冬まつり2017

- ・開催日時
平成29年1月28日（土）～29日（日）の2日間 9時～16時
- ・会場
盛岡手づくり村（振興センターロビー・展示即売室・2階研修室）
- ・内容
岩手の酒類・果汁飲料試飲即売会、岩手のリカー&ジュース Bar、盛岡市友好都市うるま市の交流コーナー、盛岡手づくり村開業30周年記念モニュメント「巨大昇り龍」のお披露目、広域のまつりを彩る工芸品展等
- ・入場者数
2,349人

(4) 巨大わら細工「昇り龍」の製作・展示

盛岡手づくり村内の職人の卓越した技能と盛岡の伝統文化を紹介するため、盛岡広域の農耕文化に由来し、村内職人、最高齢者である職人が手掛ける「巨大わら細工・昇り龍」を制作し、玄関ロビーに展示した。

- ①製作事業所
雫石民芸社

②規格

- ・長さ 16^{メートル}20^{センチ}
- ・重さ 100キロ～150キロ
- ・展示開始日 平成29年1月28日～

(5) 広域市町の地場産品・観光誘客宣伝活動の実施

盛岡広域の地場産業・観光・催事情報などについて、効果的な紹介を行うこととし、首都圏や北海道、沖縄県などで開催する物産展において、盛岡広域市町の各種パンフレットの配布を行い誘客に努める。

① 伝統工芸青山スクエアでのPR

- ・期間 平成28年11月11日～11月16日の6日間
平成29年 1月27日～ 2月 8日の13日間

- ・会場 東京都青山 伝統工芸青山スクエア
- ②うるま市産業まつりでの PR
 - ・期間 平成28年12月17日～12月18日の2日間
 - ・会場 沖縄県うるま市石川庁舎周辺及び石川体育館
- ③札幌東急での PR
 - ・期間 平成29年1月10日～1月17日の7日間
 - ・会場 北海道札幌市札幌東急百貨店
- ④埼玉県「八木橋百貨店」での PR
 - ・期間 平成29年2月16日～2月21日の6日間
 - ・会場 埼玉県八木橋百貨店

7. 地場産業普及啓発事業（その他の事業）

盛岡地域の地場産業並びに職人が製作する工芸作品や地場食品等を国内外の消費者に対し普及啓発を図る他、盛岡手づくり村を訪れる国内外の観光客へ対する施設の利便を図ることを目的として、行政関係より下記の事業を受託した。

ウ その他の受託事業

(1) 広域資源販路開拓事業

外国人観光客が多く訪れる首都圏等で盛岡広域の地場産品や観光情報等を紹介宣伝するとともに、外国人が求める地場産品及び体験サービス等を把握し、外国人観光客の誘客につながる新商品開発や新サービスの提供につなげることを目的とした需要調査を実施した。

①盛岡デーイン東京

- ・期 間：平成28年6月30日～7月4日
- ・会 場：東京イオン板橋店
- ・出品物：南部せんべい、福田パン、ジャム、ハチミツ等

②盛岡広域資源展示会

- ・期 間：8月2日～8月7日
- ・会 場：いわて銀河プラザ
- ・出品物：藍染、南部鉄器

③盛岡の工芸品展～美しい技と心、岩手山麓に生まれ

- ・期 間：11月11日（金）～11月16日（水）
- ・会 場：伝統工芸青山スクエア
- ・出品物：南部鉄器、浄法寺塗、岩谷堂家具、陶器、木工、染物等

④盛岡の工芸品展～岩手山麓幾多のめぐみ～

- ・期 間：11月11日（金）～11月16日（水）

- ・会場：伝統工芸青山スクエア
- ・出品物：南部鉄器、浄法寺塗、岩谷堂家具、陶器、木工、染物等
- ⑤外国人観光客の需要調査
 - ・調査時期 平成28年6月～平成29年2月
 - ・調査場所 上記首都圏展示会場及び盛岡手づくり村
 - ・回収内容 英語圏12名、タイ29名、台湾28名、韓国3名 計72名

(2) 外国人観光客受入体制整備費事業

近年増え続けている外国人観光客に対し、盛岡手づくり村でのインターネット環境の充実及び、多言語表示による施設の案内看板等の設置を行い、盛岡手づくり村を訪れる外国人観光客への対応強化を図った。

①Wi-Fi整備

盛岡手づくり村内の地場産業振興センター内、工房中庭、催しもの広場等にWi-Fi設備機器を設置した。

②多言語表示

施設内の看板及び各種サインを5か国語に多言語化した。
(英語、中国語、韓国語、タイ語)

(3) 盛岡手づくり村環境整備事業

盛岡手づくり村開業30周年を記念し、環境整備の一環として、振興センター1階の女子トイレを洋式化し、訪れる国内外の観光客の利便を図った。

①実施時期 平成29年2月6日～平成29年3月23日

②場 所 振興センター1階女子トイレ

③内 容 女子便所の様式化(5台)

8. 交流促進事業

盛岡手づくり村への集客と地域住民との交流を図ることを目的に、季節イベントを開催するとともに、他団体主催のイベントを支援して、地場製品の紹介宣伝を行った。

ア 交流促進事業

- ・盛岡手づくり村チャグチャグ馬コ記念行事(6月)
- ・盛岡手づくり村お正月特別営業催事(1月)

*関連業界、団体等の催事利用の推進、支援

- ・盛岡手づくり村工房まつり(9月)

9. 管理運営事業

振興センターは、盛岡地域の地場産業振興及び観光拠点施設として、県内外等からの来場者に利用されている。本年度も、環境整備や施設維持管理による来場客へのサービス、各施設及び機能の充実を図った他、パンフレットを刷新し観光客誘致を積極的に実施した。その他、通年で来場者へのアンケート調査を実施し、ニーズを把握するなど、事業の円滑な推進に努めた他、小岩井農場・つなぎ温泉・盛岡手づくり村の三施設連携事業「ワイワイ手つなぎプロジェクト」への参画や、周辺施設との連携協調に努めた。また、新たに国土交通省・御所ダムとの連携による来場者に対する施設利用の相互協力を実施した。その他、全国地場産業振興センター協議会を通じ、全国の地場産業振興センターと情報交換を図った。更には盛岡地域の地場産業振興拠点施設、観光施設としての機能並びに振興センター運営の充実を図るとともに、周辺施設との連携やエージェントや新聞、雑誌、テレビ、ラジオなどマスコミに対するPRを行うなど、ソフトやハードの面で強化を図り、来場者の誘致と利便性の向上に努めた。

(1) 振興センター入場者への宣伝・紹介

センター入場者数・・・ 409,081 人（対前年比 93.94%）

- ・ 入場者等への案内・説明・誘致宣伝活動
- ・ 観光客、視察来訪客への案内・説明
- ・ リーフレットの刷新
- ・ 台湾語・韓国語・中国語のパンフレットの配付
- ・ 旅行代理店との提携による入場者の誘致、及びパンフレット等送付
- ・ 外国人客へのパンフレット配布
- ・ マスメディア利用による宣伝・普及活動
- ・ 新聞、雑誌、ラジオ、テレビ等への広告、情報の提供及び取材協力

(2) 理事会・評議員会の開催

開催年月日	場所	会議名	会議内容
平成28年6月2日	盛岡地域地場産業振興センター2階第1研修室	第1回理事会	平成27年度事業報告・決算等
平成28年6月24日	盛岡地域地場産業振興センター2階第1研修室	第1評議員会	平成27年度事業報告・決算、役員を選任決議他
平成26年6月20日	書面評決	臨時理事会	理事長の選出の同意

平成29年3月9日	盛岡地域地場産業 振興センター 2階 第1研修室	第2回理事会	平成28年度補正予算 平成29年度事業計画 、予算、規程改正等
平成29年3月31日	盛岡地域地場産業 振興センター 2階 第1研修室	第2回評議員会	平成28年度補正予算 平成29年度事業計画 及び予算、補欠理事 の選任等

(4) 職員研修の実施

- ・ 4月 1日 コンプライアンス研修
- ・ 6月 6日 初任者研修
- ・ 6月16日・17日 コンプライアンス研修
- ・ 9月 8日 初任者研修
- ・ 11月29日 経営セミナー「儲かるヒント」
- ・

(5) 盛岡広域内の情報提供の実施

玄関ロビーを活用し、盛岡広域8市町の観光、行事等を紹介するコーナー「盛岡広域インフォメーション」の運営を行った。

(6) 国土交通省・御所ダムとの連携

駐車場からセンター本館までのダムサイト「森の小径」を開設。小径沿いにカフェを開設（4月28日～5月5日）

(7) 染屋たきうらへの食堂スペースの貸し出し

5月9日～6月3日 新工房建設に伴う施設貸出し

(8) 盛岡手づくり村ガイドツアー

9月18日、9月19日、10月9日、10月10日実施（参加者33名）

(9) 地域協働研究（ICタグ音声ガイド運用実験）

9月下旬～10月上旬（台湾観光客対し3回実施）

(10) パブリシティ

(I) テレビ

- ・ 4月13日 テレビ岩手ニュース「タイチャーター便150名来場」
- ・ 5月14日（土）岩手めんこいテレビ「山・海・漬」

ナンジェラ、チーズどらやき

- ・ 5月16日（月）IBC 岩手放送「盛岡手づくり村30周年記念式」
- ・ 6月18日（土）IBC 岩手放送「職人展」
- ・ 6月19日（日）めんこいテレビ「職人展示」
- ・ 1月24日（火）めんこいテレビ「
- ・ 1月28日（土）朝日テレビ「いいコト！」生中継

(II) 新聞・雑誌関係

- ・ 4月 盛岡手づくり村で沖縄うるま市の泡盛販売（月刊アキュート）
- ・ 4月15日（金）タイチャーター便盛岡手づくり村など行楽（盛岡タイムス）
- ・ 4月25日（月）五種ダム頂部ゲートから放流（盛岡タイムス）
- ・ 4月29日（金）後継ぎ期待の新弟子「鉦工房」（岩手日報）
- ・ 4月29日（金）伝統文化を体験・見学（河北新報）
- ・ 5月 2日（月）盛岡手づくり村30周年（岩手日報）
- ・ 5月 3日（火）装い新た展示資料室（盛岡タイムス）
- ・ 5月15日（日）南部鉄瓶の鉦工房に弟子入りした福田将和さん（岩手日報）
- ・ 5月17日（火）盛岡手づくり村開業30周年で記念式（盛岡タイムス）
- ・ 5月17日（火）手づくり村30周年シンポ（岩手日報）
- ・ 6月19日（日）職人の誇り技開く 30周年記念工房まつり（岩手日報）
- ・ 6月19日（日）職人の技法化間近で体験 職人まつり（盛岡タイムス）
- ・ 7月 ペットと一緒に散策しながら盛岡周辺の伝統の技を体験してみよう
(ペテイリビング Vo7)
- ・ 7月 盛岡手づくり村開業30周年「未来へ伝える手業の価値」
(盛岡商工会議所ニュース)
- ・ 7月15日（金）藍染の魅力一層 染屋たきうら工房新築（岩手日報）
- ・ 7月16日（土）染屋たきうら 新工房がオープン（盛岡タイムス）
- ・ 7月16日（土）新工房がオープン（岩手日日新聞）
- ・ 7月25日（月）新工房が完成した染屋たきうらの4代目（岩手日報）
- ・ 8月14日（日）工作体験に“くぎづけ”「手づくり村夏まつり」（岩手日報）
- ・ 8月14日（日）工房の体験やイベント「もう息ふるさと夏まつり」（盛岡タイムス）
- ・ 9月18日（日）工房まつり 企画は秘密（岩手日報）
- ・ 9月19日（月）30周年祝ってまつり「工房まつり」（盛岡タイムス）
- ・ 10月1日（土）英語と中国語にも対応「3カ国の音声ガイド」（盛岡タイムス）
- ・ 10月10日（月）獅子にかまれて笑顔「食と工芸秋まつり」（盛岡タイムス）
- ・ 11月15日（火）盛岡広域の工芸伝統的な技発信「青山スクエア」（岩手日報）
- ・ 11月21日（月）岩手の技の美と伝統「青山スクエア」（盛岡タイムス）
- ・ 12月24日（土）南国に好評、北の幸「うるま市の産業まつり」（盛岡タイムス）

- 12月26日（月）「釜」光らせる名脇役「田中二三男」（岩手日報）
- 1月1日（日）金属に魅せられて「菊池翔」（岩手日報）
- 1月3日（火）たこ作り親子で楽しく「今日まで正月の催し」（岩手日報）
- 1月3日（火）お正月に思い出みやげ「今日までフェア」（盛岡タイムス）